

公共施設調査・整備特別委員会

令和7年5月14日

1 報告事項

(1) 子どもの遊び場事業について（旧九段中学校の利用実態） 【資料】

(2) 和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備について 【資料】

2 調査報告（案）について

3 その他

子どもの遊び場事業について（旧九段中学校の利用実態）

1. 概要

「千代田区子どもの遊び場基本条例」に基づき、子ども（主に就学前児童・小学生）が自由にボール遊び等ができる子どもの遊び場の継続的な確保のため、旧九段中学校の校庭および体育館の活用を令和7年度より開始した。

2. 実施場所

- 施設名 旧九段中学校（校庭および体育館）
- 所在地 東京都千代田区富士見1-1-6

3. 対象者および利用日時

- 幼児および小学生とその保護者（毎日）
- 中学生および高校生（土曜日・日曜日・祝日のみ中高生タイムを設置）
- 平日の利用 幼児及び小学生とその保護者（午前9時～午後5時）
- 土曜日・日曜日・祝日の利用

	午前9時～午後1時	午後1時～午後5時
校庭	幼児及び小学生とその保護者	中学生および高校生
体育館	中学生および高校生	幼児及び小学生とその保護者

※中高生と小学生以下の利用者との入れ替え制

4. 実施方法

- プレーリーダーは配置せず、シルバー人材センターに安全管理等業務を委託。
入口及び体育館にそれぞれ1名の人員を配置。
- 遊び道具の貸し出しはしない。体育館利用時は外履きでの利用不可。
また、小学3年生以下は保護者同伴必須。

5. 利用状況（4月1日～4月30日）

- 校庭および体育館において午前10時および午後4時半時点における人数をシルバー人材により確認
- 利用人数（利用日数：平日21日間、土日祝9日間）

	午前10時時点 （延べ人数）	午後4時半時点 （延べ人数）	1日あたりの利用者数 （平均）	
平日（校庭）	1名	87名	4.2名	8.1名
平日（体育館）	13名	69名	3.9名	
土日祝日（校庭）	31名（小学生以下）	73名（中高生）	11.6名	25.2名
土日祝日（体育館）	17名（中高生）	106名（小学生以下）	13.7名	
計	62名	335名	13.2名	

和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備について

1. 令和5年度までの取り組み

学校・園関係者を中心とした検討を通じて、和泉小・こども園等施設の和泉公園への移転建替えの考えを取りまとめた。

2. 昨年度からの取り組み

移転建替えには和泉公園の都市計画変更が必要。このため、公園からの視点を検討に加え、公園も含めた全体の機能が向上するよう、以下により地域からのご意見を伺いながら検討を進めている。

① 和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備に向けた検討会

構成：施設・地域・隣接の関係者、学識経験者及び区（計 13 名）

開催：第 1 回 令和 6 年 11 月 21 日、第 2 回 令和 7 年 3 月 27 日

② 個別ヒアリング

対象：周辺の町会等団体

時期：令和 6 年 12 月～

③ オープンハウス型地域説明会

対象：地域住民等

時期：令和 7 年 2 月 7 日、8 日

④ 小学校児童アンケート

対象：和泉小学校の児童

時期：令和 7 年 2 月

3. 現時点における検討の状況

これまでの検討状況・スケジュールは、令和 7 年 3 月 27 日開催の第 2 回和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備に向けた検討会の資料（別添 1～11）のとおり。

現在は、その際に示した人工地盤により公園・校庭を立体的に分けて配置する案について、技術的な確認・整理を行っている。

現施設の課題

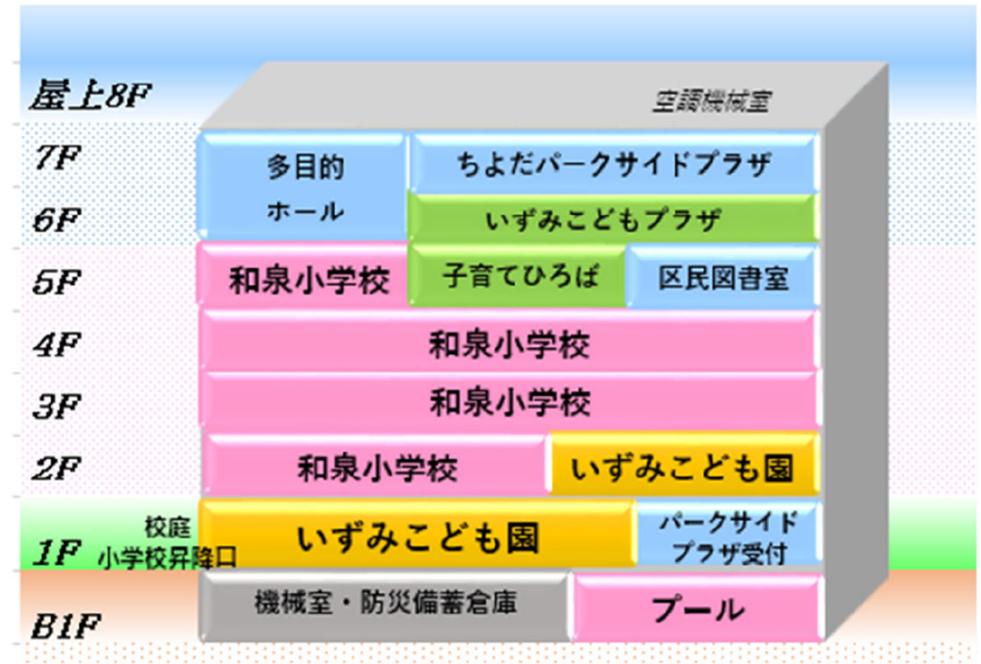
現施設の 主な課題

- ①建物の老朽化
 - ・設備の経年劣化による故障が頻発。
- ②管理運営面での課題
 - ・学校・こども園部分と地域利用部分の動線混在。
 - ・バリアフリーへの対応が不十分。
- ③児童数への対応
 - ・学区内での就学前人口が増加傾向にあり、教室数が不足する見込み。

[現在の和泉小学校・いずみこども園等施設の構成]

敷地面積	3,963.06 m ² ※)
延床面積（全体）	11,454.9 m ²
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート構造 地上8階・地下1階

建物 構成	8階（屋上）	機械設備等
	5～7階、受付1階	ちよだパークサイドプラザ
	5・6階	いずみこどもプラザ
	1～5階	和泉小学校
	1・2階	いずみこども園
	地下1階	プール、給食調理室、防災備蓄倉庫等



※) 敷地に隣接する和泉公園の一部（約600m²）に施設の人工地盤を拡張し校庭として使用している。

整備イメージ

- 小学校・こども園の機能継続の観点から学校等施設の和泉公園敷地への移転建替えを検討
⇒ **公園との敷地交換・一体的整備**
- 限られた敷地内での整備効果の最大化を図るため、校庭と公園の兼用(タイムシェア)といった一体的利用や、旧和泉町ポンプ所跡地に現ちよだパークサイドプラザの機能を分担すること等も検討



旧和泉町ポンプ所跡地



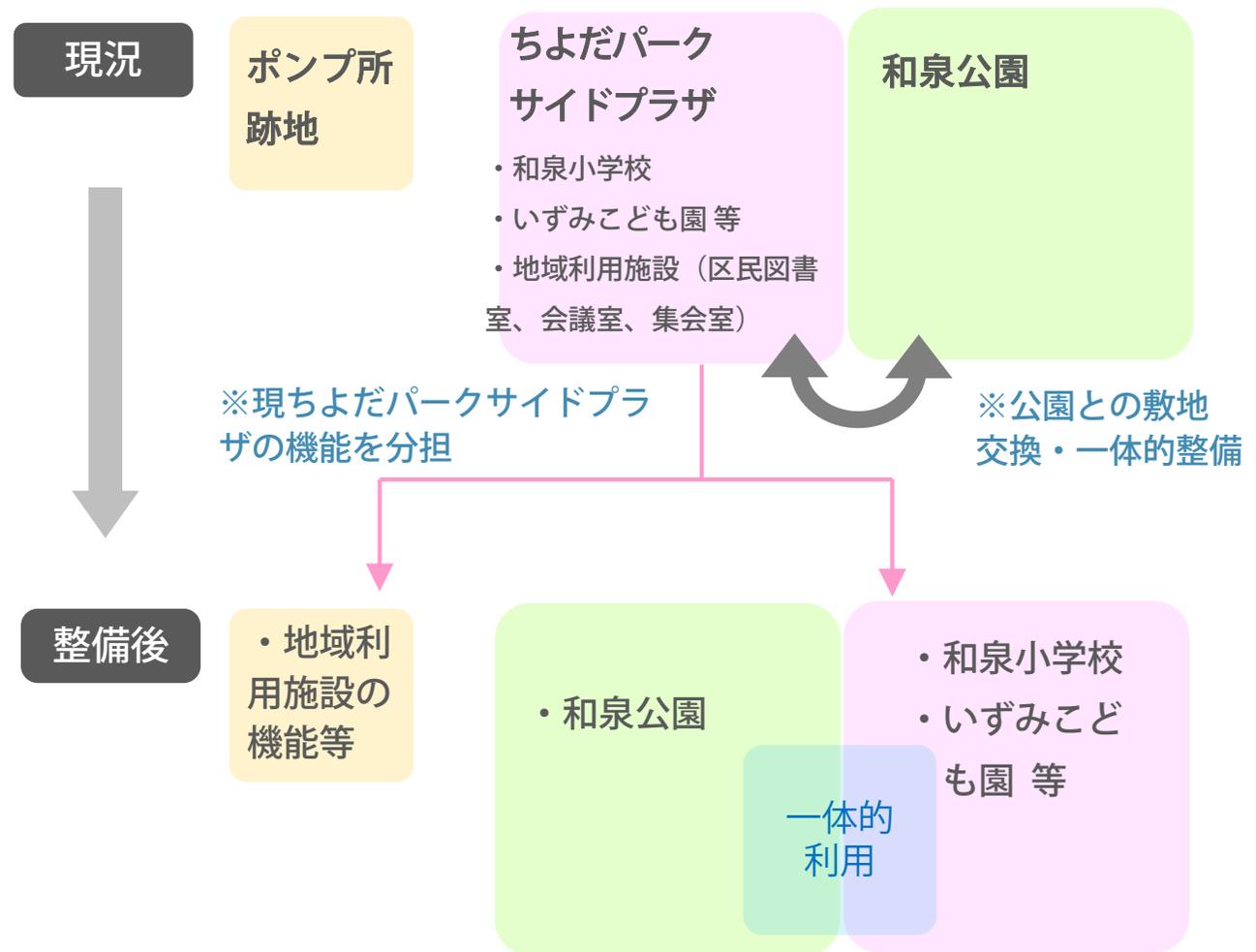
ちよだパークサイドプラザ



和泉公園(芝生広場)

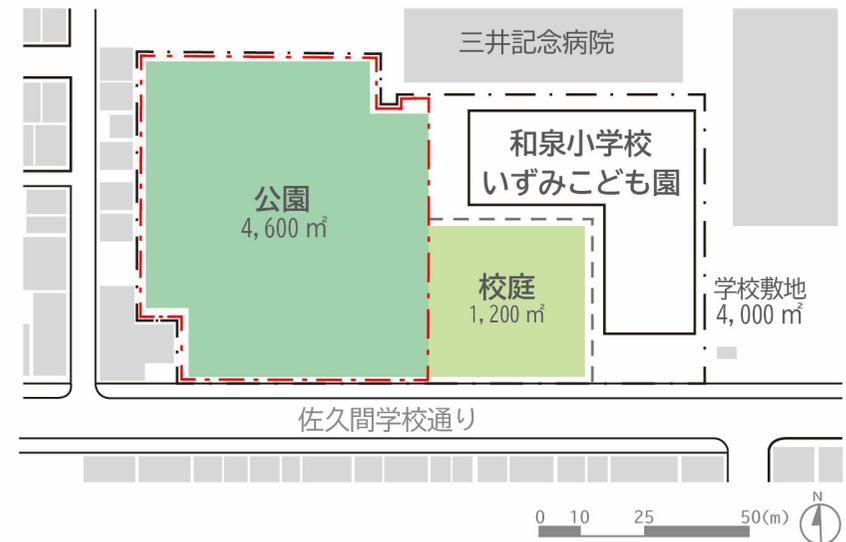
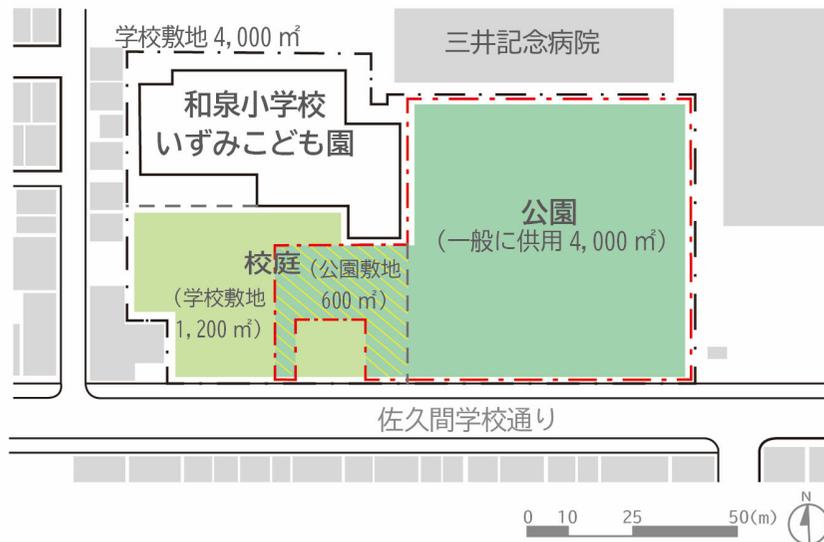


和泉公園(じゃぶじゃぶ池)



公園との敷地交換・一体的整備について

- 敷地交換により仮校舎の建設や児童・園児にとって負担となる一時移転が不要になります。また、一体的整備により新たな施設と公園を合理的に配置し、全体の機能の向上を図ることができます。
- 一方、それぞれの公共施設には設置の目的があり、利用者等に違いもあります。特に公園については、敷地の交換後、現在の都市計画決定面積(約4,600㎡)を一般利用者に供用させる必要があります。



現在の校庭: 学校敷地1,200㎡+公園敷地600㎡=1,800㎡

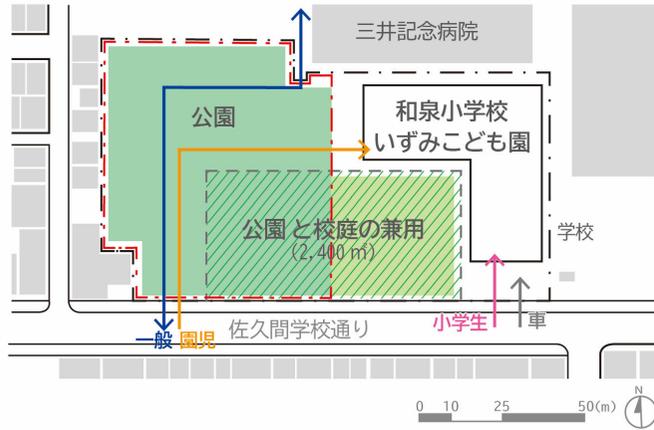
学校敷地(4,000㎡)の中で校庭を設けるため面積が小さくなってしまう

校庭と公園の兼用(タイムシェア)による利用可能面積の拡大※

※両敷地に跨って兼用エリアを設定。平日昼は学校の校庭、それ以外の時間帯は公園利用者で使用することで、双方にとっての利用拡充を図る。ただし、運用方法や費用、セキュリティの確保に十分留意する必要がある。

参考:公園と校庭の兼用(タイムシェア)を考慮した配置形態の検討

※都市計画公園 ■ 4,600㎡、学校敷地内校庭 ■ 1,200㎡、両者に跨る兼用エリア ■ 2,400㎡を共通として、レイアウトのパターンを整理。
 ※各レイアウトとも移転建替え完了後の姿を表現。工事期間中は、公園閉鎖となり、新校舎の校庭も学校敷地内だけで確保。



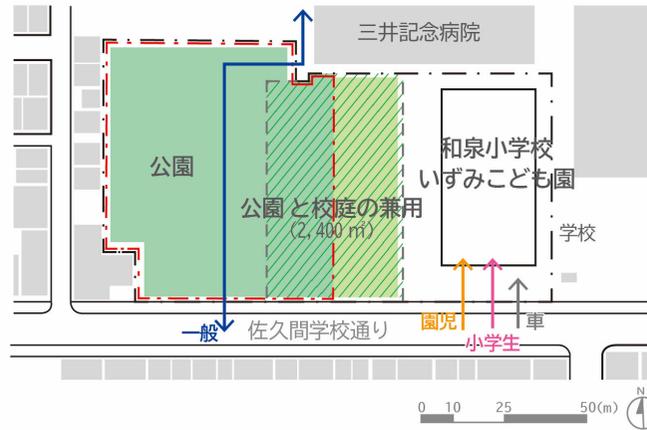
校舎:L字パターン
兼用エリア:南中央

メリット

- ・校庭に面する部分が長く、校庭と校舎との一体感がある

デメリット

- ・道路から離れた奥まった箇所に公園が位置する、道路側間口も狭い
- ・校庭の防球ネットが道路側に与える圧迫感が大きい



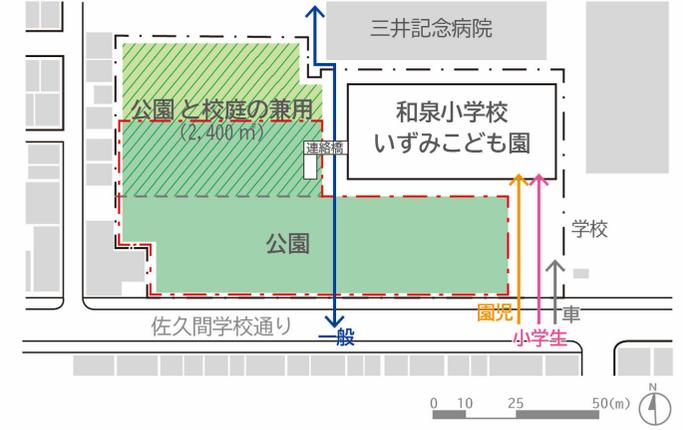
校舎:矩形—東パターン
兼用エリア:中央

メリット

- ・公園、公園と校庭の兼用エリア、それらをあわせたエリアがそれぞれまとまった整形となる

デメリット

- ・公園と施設の利用動線がはっきり分かれるため、施設と公園の関係性が薄れる



校舎:矩形—北パターン
兼用エリア:北西

メリット

- ・公園の間口が広く、出入りしやすい
- ・校庭の防球ネットが道路から離れるため、道路側が開放的

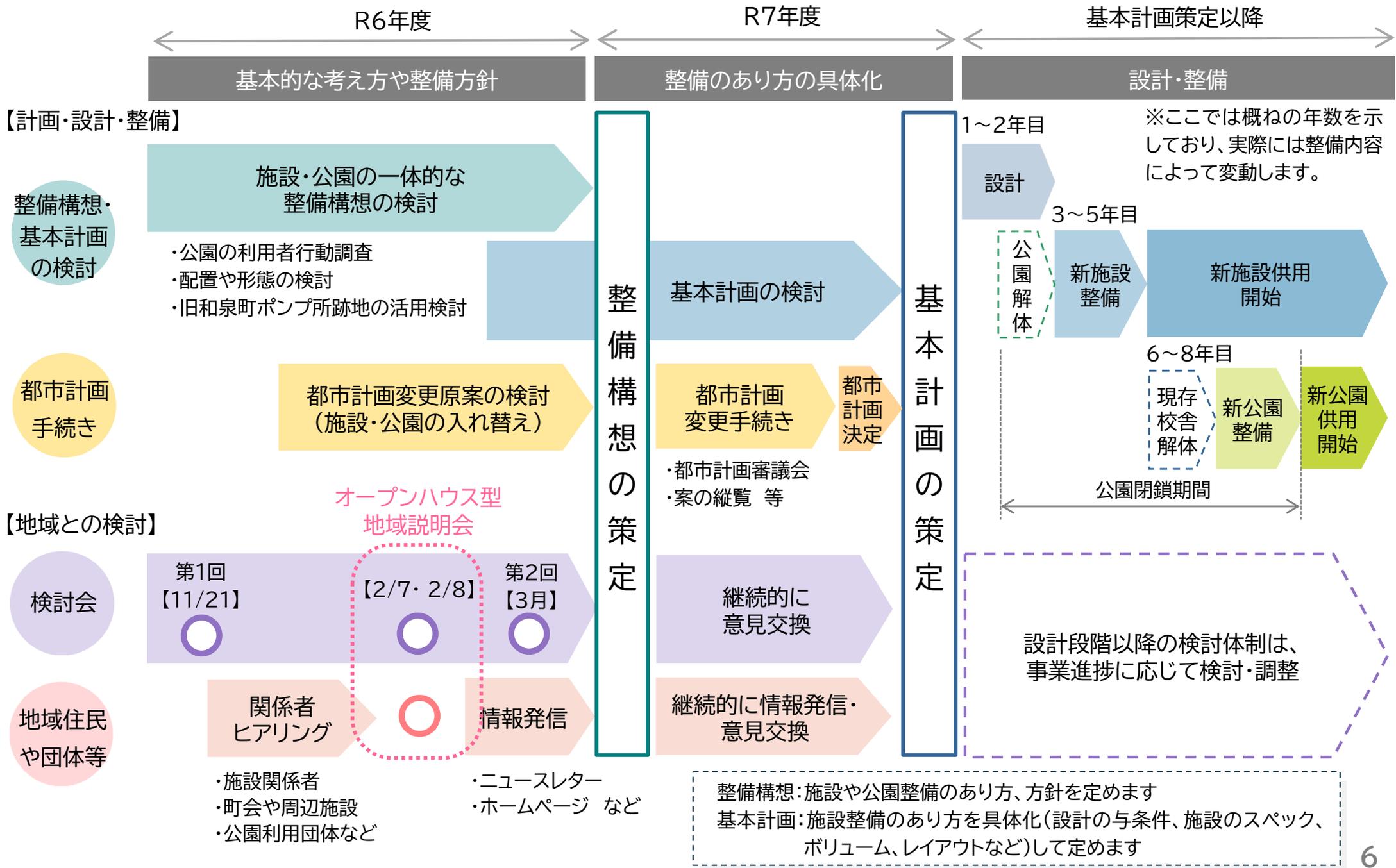
デメリット

- ・通り抜け動線確保のため、校舎から校庭への動線が歩道橋等になる
- ・冬季における公園の日当たりが比較的悪い

オープンハウス型地域説明会(R7年2月7・8日)での配置検討模型



スケジュール



和泉公園の利用状況調査の実施結果

■実施概要

(1) 目的

- 施設・公園の再整備において、利用者による多様な活動創出につながる効果的な空間整備に向け、現在の公園利用者の滞留行動や利用動線の実態から和泉公園の空間特性や活動のポテンシャルを把握する。

(2) 調査の実施概要

- 実施日時：【休日調査】11月24日（日）日中／【平日調査】11月25日（月）日中

(3) 調査結果のまとめ

- アクティビティマッピング調査では、休日・平日共に様々な活動が見られた。芝生広場では、休日はくつろぐ人、平日は活発に遊ぶ人が多い。また、パークサイドプラザ前は、南北の移動が多い。
- 利用者動線調査では、休日・平日ともに秋葉原側入口からの流入が多く、パークサイドプラザ・北側通路・三井記念病院への通過が多く、平日は特にその傾向が強まる状況が見られた。浅草橋側入口側は、広場や遊具等の利用の流入が多い。

(4) 調査結果の詳細

■アクティビティマッピング調査（7:30～16:00の30分ごとの公園利用者分布の重ね合わせ）

- ・滞留行動（休憩・飲食・会話等）と地点を把握し、広場・ベンチ・遊具廻り等の空間特性や活動が生まれるポテンシャルを分析

【休日調査 11月24日（日）】



① じゃぶじゃぶ池で子どもが遊ぶ



② 親子で、広場で遊ぶ



③ 広場でくつろぐ



④ ベンチでくつろぐ



⑤ 友達同士で、広場で遊ぶ



⑥ 落葉を集めて遊ぶ



⑦ 親子で、遊具で遊ぶ

【平日調査 11月25日（月）】



⑧ ほとんどが南北の通過



⑨ 子どもの遊び場や大人の休憩に使用



⑩ 休憩やランチの飲食でベンチを使用



⑪ 広場でのボール遊び



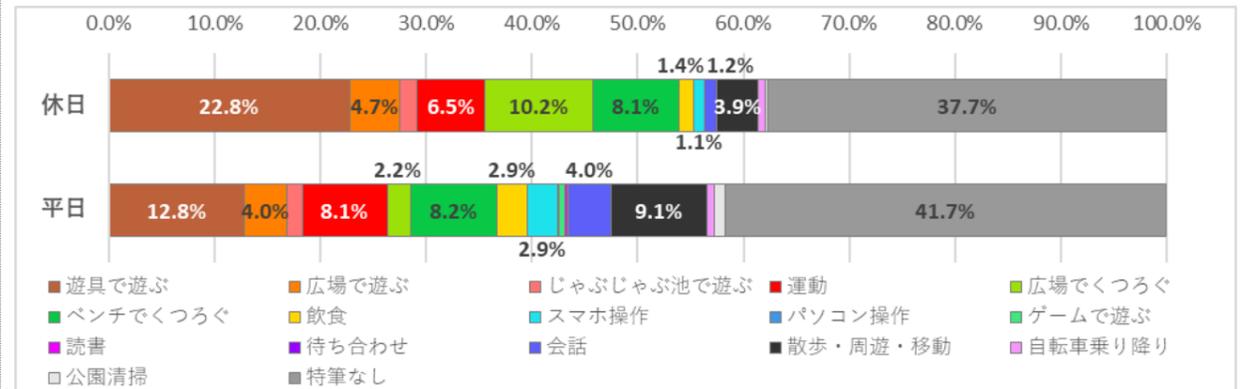
⑫ 散歩やくつろぎの滞留も見られる



⑬ 保育園の散歩などで遊具が頻繁に使用

アクティビティマッピング調査における休日・平日の比較

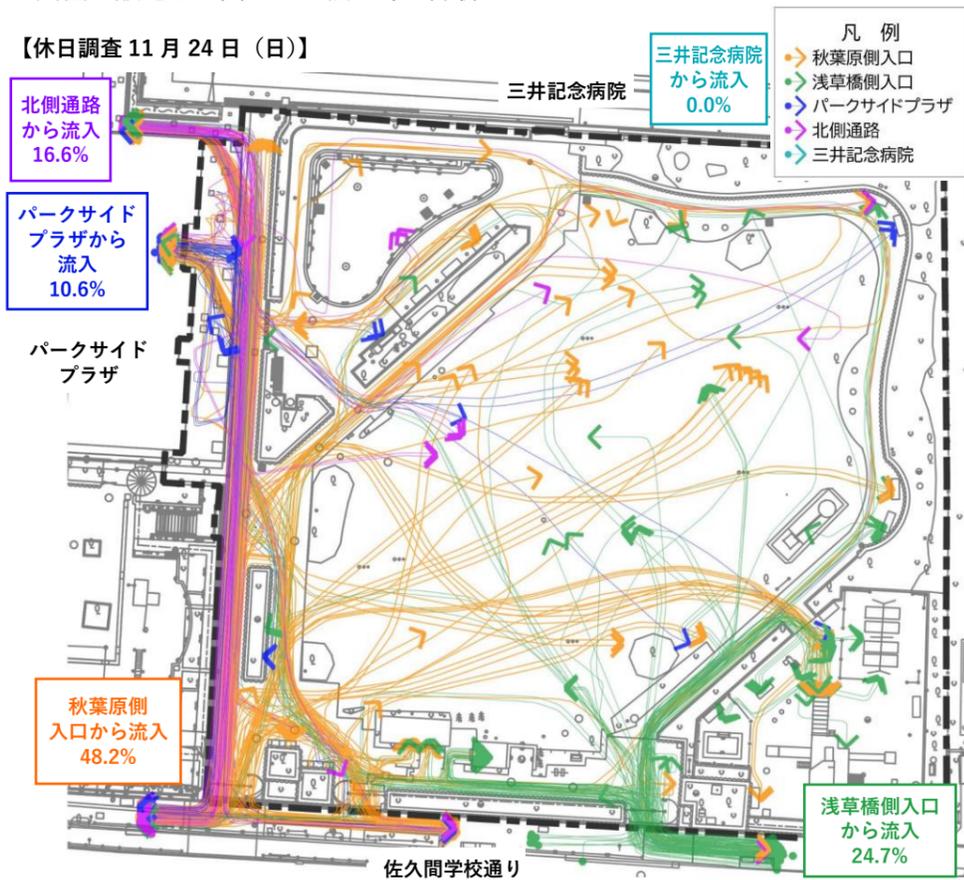
- ・休日は、「遊具で遊ぶ」が2割を超え、次いで「広場でくつろぐ」や「ベンチでくつろぐ」が多い。
- ・平日は、「遊具で遊ぶ」「散歩・周遊・移動」「ベンチでくつろぐ」「運動」が1割前後となっている。西側の園路を南北方向に通行している件数も多く、「特筆なし」に該当する割合が休日より高い。



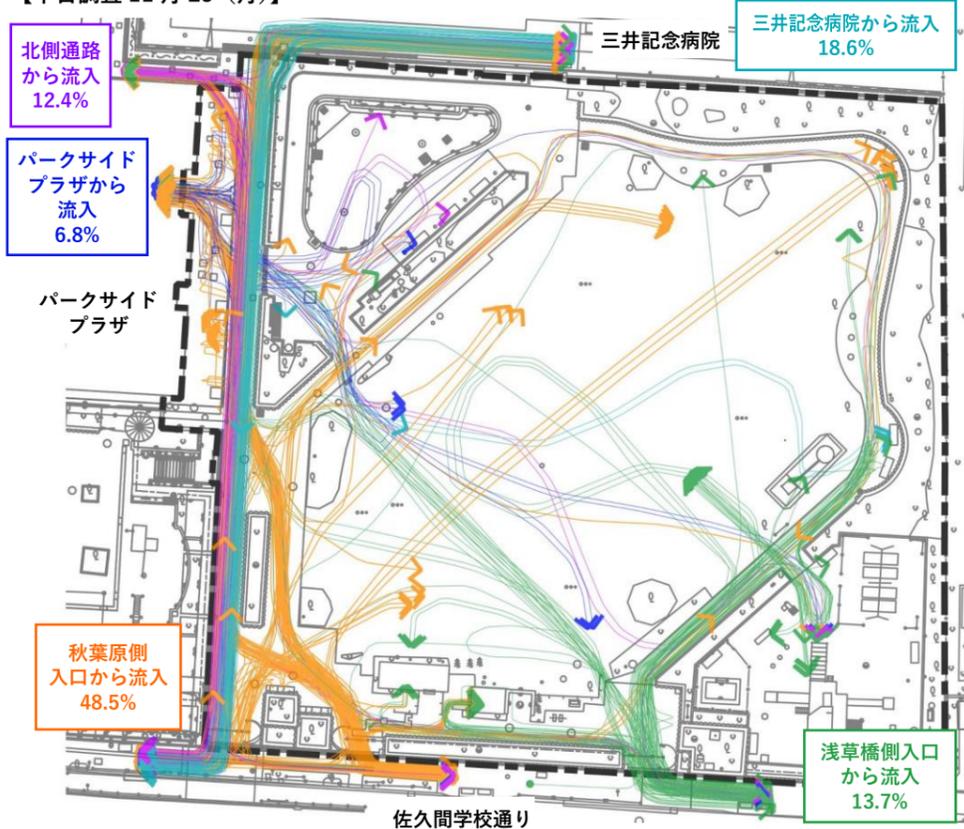
■利用者動線調査（10:00～16:00の30分ごとの公園利用者動線の重ね合わせ）

・歩行者動線（通り抜け、隣接施設への往来等）から、公園のレイアウトの特性や周囲の敷地との関わりやの強さを分析

【休日調査 11月24日（日）】

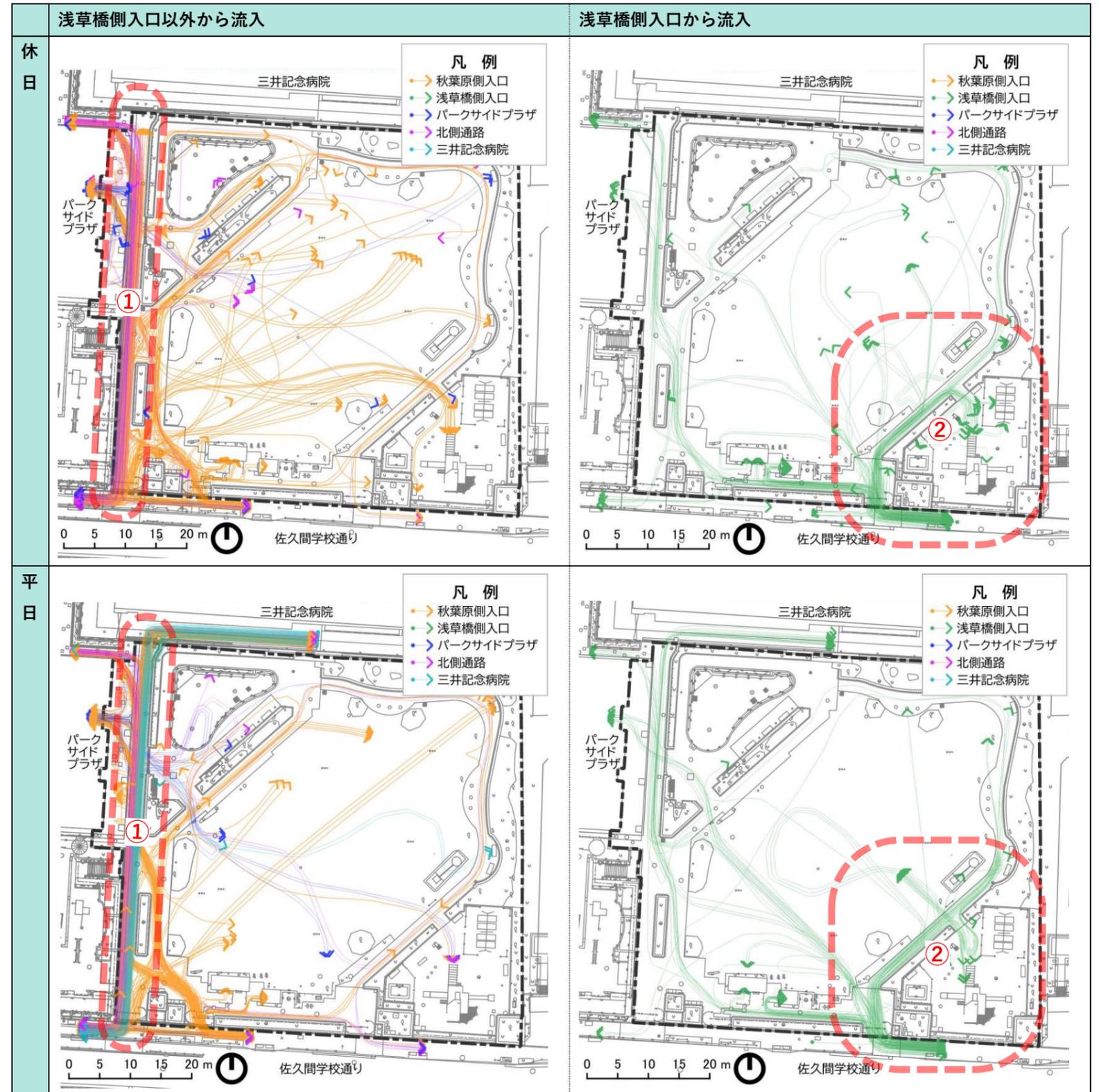


【平日調査 11月25日（月）】



【入口別の動線の比較】

- ①平日・休日ともに秋葉原側入口からの流入が最も多い。パークサイドプラザ・北側通路・三井記念病院への通過が多い傾向にあり、平日は特にその傾向が強まる。パークサイドプラザ・北側通路・三井記念病院からの流入も同様の傾向であり、秋葉原側入口への通過が多い。
- ②浅草橋側入口から流入については、休日、平日ともに広場や遊具等の利用のための流入が多く見られる。



一体的整備の環境への影響（風環境シミュレーション）

■ 風環境シミュレーション

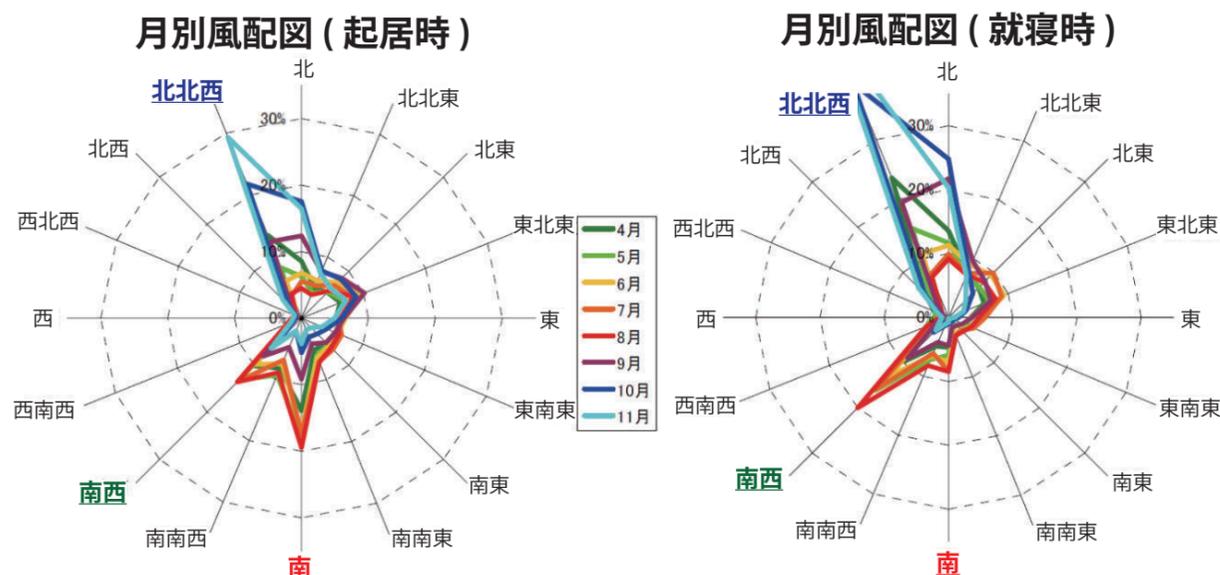
・現状、和泉公園には強風が吹くことが多いという実態があります。これは、周辺の高層建物による影響と考えられます。そこで、今回の学校施設と公園の配置換えにより、当該敷地の風環境が「改善するのか／悪化するのか」を数値解析により評価しました。

【解析結果のまとめ】

- ・現状の建物・公園の配置においては、南、南西からの風が北側の三井記念病院にぶつかり吹き下ろすことで、公園内に強風エリアが発生していることが分かりました。これは公園利用者へのヒアリング結果と一致します。
- ・本計画のように建物と公園の配置が東西で入れ替わると、新公園への吹き下ろしの風が軽減されることが分かりました。
- ・建物間の隙間からの強い風は現況・計画案ともに確認されましたが、これらは地表面まわりの植栽等の計画によりコントロール可能な範囲であると考えられます。

1) 解析条件（入力値）

・気象データをもとに、春～夏の卓越風として南風と南西風、秋～冬の卓越風として北北西風を採用します。

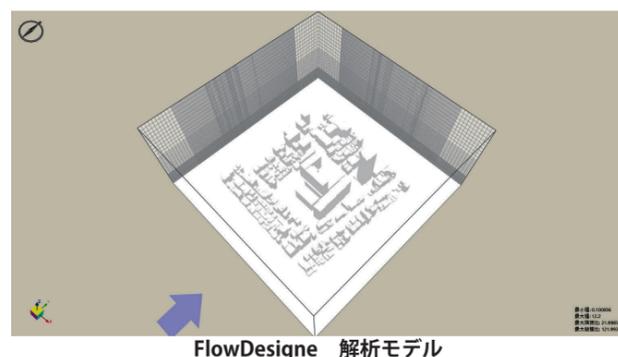


月毎気象データ数表

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		
	起居時	就寝時	起居時	就寝時	起居時	就寝時	起居時	就寝時	起居時	就寝時	起居時	就寝時	起居時	就寝時	起居時	就寝時	
平均気温[°C]	15.6	12.5	19.9	16.8	22.6	20.0	26.4	23.7	28.2	25.6	24.4	22.2	19.2	16.7	14.0	11.4	
平均相対湿度[%]	57	68	61	73	69	80	71	82	68	80	69	79	62	72	56	65	
平均風速[m/s]	2.1	1.7	2.0	1.6	1.9	1.5	1.8	1.4	1.9	1.5	1.9	1.6	1.8	1.7	1.8	1.7	
風向	最頻	南 14%	北北西 24%	南 18%	南西 16%	南 17%	南西 13%	南 17%	南西 16%	南 19%	南西 20%	北北西 12%	北 22%	北北西 22%	北北西 39%	北北西 29%	北北西 48%
	次点	北北西 13%	北 14%	南西 13%	北北西 15%	南西 10%	北 11%	南西 13%	北 10%	南西 14%	北 9%	北 12%	北北西 19%	北 18%	北 25%	北 16%	北 20%
	次々点	南西 10%	南西 10%	南南西 9%	北 12%	東北東 10%	北北西 11%	東北東 8%	北東 10%	南南西 9%	南 8%	東北東 10%	北北東 10%	東北東 9%	東北東 8%	北北東 7%	北北東 7%

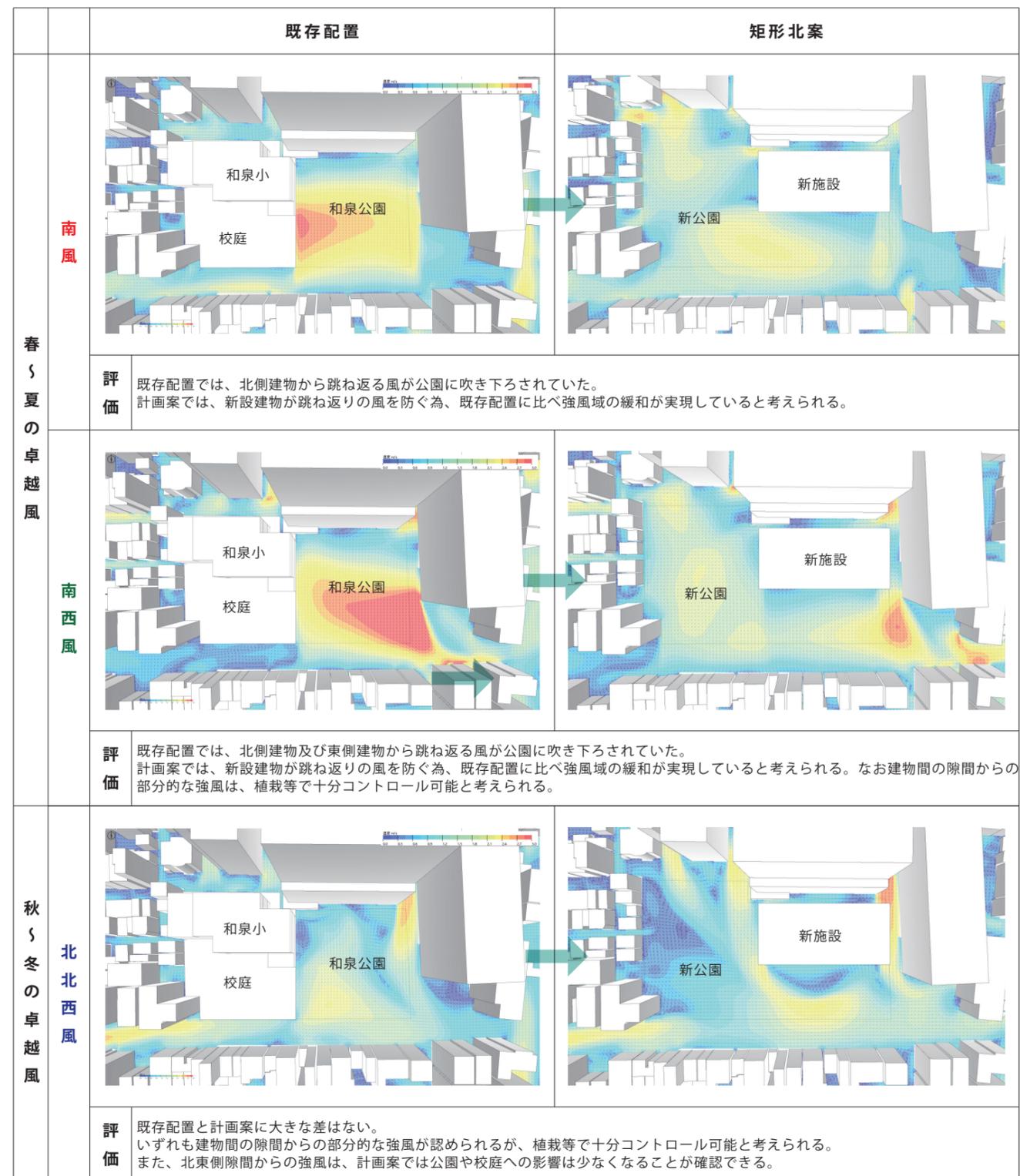
■ 解析3Dモデルの作成、風の入力

敷地内および周辺の建物を3Dモデル化し、風環境シミュレーションを実施しました。風速は2.0m/sとし、「既存配置」と「矩形一北案」の比較を行いました。



2) 解析結果

- ・敷地を上空から見た図に地表面+1mの高さに吹く風の強さを色で示します。（※青色→赤色で、弱風→強風を示しています）
- ・シミュレーションは、以下の条件で実施しました。
風向：春～夏の日中に卓越する南・南西の風、秋～冬の日中に卓越する北北西の風
比較対象：現在の建物配置（既存配置）、新たな建物配置（矩形一北案）
この比較により、各配置の風環境への影響を評価しました。



第1回和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備に向けた検討会意見まとめ

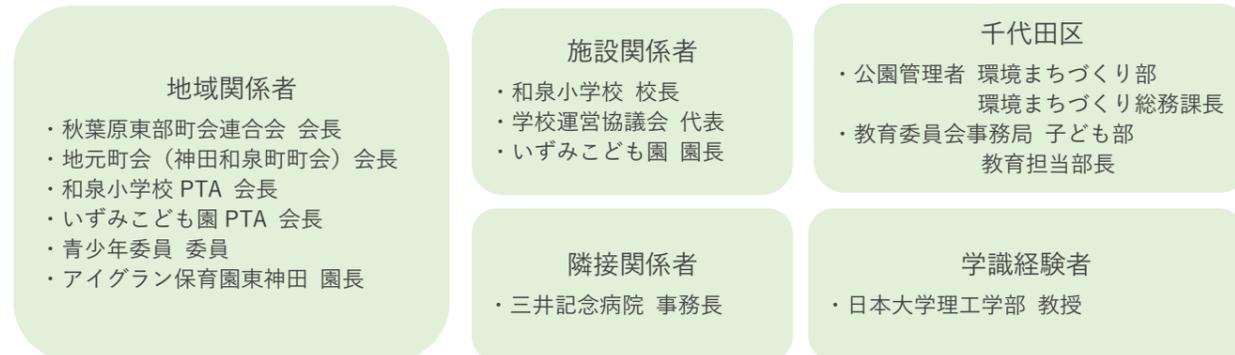
■実施概要

(1) 開催概要

日時：令和6年11月21日（木）18:00-20:10

場所：ちよだパークサイドプラザ7階会議室

(2) 参加者



■主な意見

(1) 学校等施設と公園の一体的整備に関する意見

①校庭と公園の一体的利用

- ・公園と校庭の兼用について、校庭については小学校の終業後でもこども園や学童が夕方まで活用している状況がある。土曜保育でも活用している。そのあたりも含めて検討してほしい。
- ・校庭開放の際も問題になるのが安全面。誰でも入ってこられる。セキュリティが課題となるだろう。

②施設・公園の配置形態

- ・隣接する病院の入院フロアは7階から上であり、患者のことを考えると、圧迫感の軽減を考えてほしい。
- ・病院の公園側の入口は外来患者の入口になっており、そこからの景観にも配慮してもらいたい。

③スケジュール、工事期間中（公園閉鎖期間中）の配慮

- ・公園を使えない期間が長くなるのであれば、代替措置を考えていただきたい。
- ・10年先、20年先にどういふかたちが理想的かを長期的な視野で考えていただきたい。
- ・下校時は子どもが興奮して動き回るため、工事の際には安全策を考えていただきたい。
- ・生活している横での工事となるので、昼寝等に影響が出る可能性がある。

④その他

- ・高齢者と園児が一緒に交流できる場所があれば良いと思う。
- ・公園と校庭を一体的に整備するという案には困難もあるかもしれないが、是非ワクワクするようなものになるよう検討を進めてほしい。
- ・小学生が医療に携わりたいと思ってもらえるような、何らかのプログラムや連携を考えても良いのでは。

(2) 施設に関する意見

①施設全体

- ・現施設の校庭では、火事、災害時に消防車等の緊急車両が入れない。
- ・児童が授業間に移動しやすいように検討していただきたい。

②和泉小学校校舎

- ・区民図書室のスペースを小学校の図書館として使えないか。現在は、児童数の増加に伴い、廊下に本を置いている。

③いずみこども園

- ・こども園への送り迎えの動線をスムーズにしていただけると保護者は嬉しい。南から登園する保護者が多いため、その方向からのアクセスのしやすさを考慮した計画としてほしい。

(3) 公園に関する意見

①日常利用

- ・この公園は風があるときにビル風が強くなり、ほこりや土が舞い上がり痛いくらいになる。風の問題は解決できるとよい。
- ・ボール遊び禁止だが、ルールがおざなりになっている。休日は、フェンスのある校庭を高学年が球技に使えるようになると良いのでは。
- ・トイレの入り口が道路側に面しているおり、公園側からは見えなくなってしまう。代替園庭として使用する際は、職員が誰かついていかなければいけない。

②災害時の利用

- ・今の公園には災害対策用井戸がある。断水時に必要。新たな公園を整備する際には、井戸についても考える必要がある。

③その他

- ・じゃぶじゃぶ池は重宝している。工事期間中に使えなくなることが心配。
- ・秋葉原の繁華街に近いことで、治安面での不安もある。

(4) 旧ポンプ所跡地の活用に関する意見

- ・子どもが遊べる場所になれば、周辺の保育園にとっても良いのでは。
- ・和泉公園の多機能化として、部屋の中で出来る活動はポンプ所跡地での建物を活用し、外の活動は公園を活用するという考え方もあるのでは。
- ・あえて学校から離れていることを活かした、様々な児童のための居場所というアイデアもあるかもしれない。

個別ヒアリングの概要

■実施概要

(1) 目的

- ・学校関係者、施設運営者、地元関係者、施設及び公園の利用者等を対象に個別にヒアリングを行い、現在の施設及び公園が抱える課題、移転建て替えへの期待等を詳細に把握し、整備構想に反映する。

(2) ヒアリング対象者

施設関係者	施設、公園の利用者	地元住民組織	周辺施設、その他
<ul style="list-style-type: none"> ・和泉小学校 ・いずみこども園 ・いずみこどもプラザ ・ちよだパークサイドプラザ 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺私立保育園 ・校庭、公園利用団体（少年野球チーム、ボーイスカウト、消防団、子どもの遊び場事業など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元町会の会長、役員（神田和泉町町会、神田佐久二平河町会、神田佐久間町三丁目町会、神田佐久間町四丁目町会、東神田三丁目町会） 	<ul style="list-style-type: none"> ・三井記念病院 ・和泉橋出張所 ・公園管理者、ほか区関係各課

※個別ヒアリングは、必要に応じ引き続き実施予定。和泉小学校児童には、児童アンケートを実施。

■主な意見

(1) 学校等施設と公園の一体的整備に関する意見

①学校等施設と公園敷地の入れ替え

- ・閉校期間がなく、校舎や校庭が利用できるならば、問題ない。

②校庭と公園の一体的利用

- ・現在の校庭は狭いため、スペースが広がるのはよい。運動会やイベント時に公園とタイムシェアできると良い。
- ・建物入口の一元化など、建物側、公園側のセキュリティを十分に確保すべき。
- ・校庭と公園の段差を解消できると良い。
- ・江東区の臨海小学校の例では、可動式門扉を設けて公園・校庭の一体的利用を実施している。その場合の門扉開閉等の運営は学校関係者以外で対応してほしい。

③施設・公園の配置形態

- ・不特定多数の人が利用する公園部分は佐久間学校通りに面していた方が良い。
- ・新しい公園はできるだけ広くしてほしい。周辺保育園が代替園庭として和泉公園を利用しているが、現在でも狭く感じている。
- ・公園が奥になる場合、明るさや外から見通しやすい環境を整えるなどの工夫が必要である。
- ・公園は、奥行があり、道路との間に十分な距離がある方が利用はしやすい。
- ・病院は秋葉原方面からの利用者が多いため、佐久間学校通りから公園を通り抜ける動線を確保してほしい。学校の東側から回り込んで病院と行き来する動線があっても良いかもしれない。
- ・安全上、小学校の入り口と公園利用者の動線は交錯しないことが望ましい。
- ・施設1階部分をピロティにしてそこを公園とし、2階以上に主要施設を入れると、校庭と公園の必要面積を確保できるのではないかな。
- ・限られた敷地の中で園庭を1階に設けるのはもったいない印象。別のレイアウトも検討できないか。

- ・レイアウト検討の中で既存樹を利用した形（残置、移設）を検討できないか。佐久間学校通り沿いの大きい樹木2～3本は、日影や緑の維持のため残してほしい。
- ・施設整備後の新たな出入口の配置によっては、横断歩道の位置を変える、もしくは新設が必要となるのでは。

④スケジュール、工事期間中（公園閉鎖期間中）の配慮

- ・公園の閉鎖期間が長いことは気がかり。公園閉鎖期間の対応を検討してほしい。
- ・工事の詳細見通しはいつごろ分かるのか。
- ・設計から供用開始までの期間をできる限り短くできると良い。
- ・工事途中の新旧施設がある段階では、校庭や公園は狭くなるのが気がかりである。
- ・和泉公園は、1～2歳児が安全に使える貴重な空間（芝生・走り回れる空間・砂場等）がある。
- ・3～5歳児は遊具を使用するが、和泉公園でなくとも佐久間公園・神田児童公園・旧今川中学校の校庭なども利用可能である。
- ・代替公園には、特に1～2歳向けの遊具・遊ぶスペースを設けてほしい。佐久間公園は公園からすぐに道路へ出られてしまう。旧ポンプ所跡地は歩いて行けるが、遠い。
- ・代替公園は、子どものボール遊びができる程度の広さは確保できるとよい。
- ・代替公園や現小学校の校庭開放日を増やす等の際に、プレーリーダーを配置し、子どもの遊び場を確保することも考えられる。
- ・佐久間学校通りから三井記念病院へのアプローチは、工事中も動線を確保してほしい。
- ・暫定措置でも良いので、工事中の納涼大会やラジオ体操ができる場所を確保してほしい。ラジオ体操は夏休みの朝なので、新しい校庭を使用できると良い。

(2) 施設に関する意見

①施設全体

- ・小学生と園児が日常的に顔を合わせる環境は教育的にも良く、維持したい。
- ・老若男女が小さい子と触れ合えるなど、世代間で親睦が深まるような施設になると良い。
- ・三井記念病院の病室からの見晴らしを考えると、高さを抑えるなど少しでもゆったりしたものにしてほしい。将来的に7階を通常の一般病室に使用する可能性もある。
- ・地区の防災対策拠点となる場所。救援物資の受け取りや、洪水浸水への対応も考慮が必要である。緊急医療救護所用資器材を置けるようなスペースを確保してほしい。
- ・防災倉庫は浸水の可能性が指摘されており、体育館の近くなど、設置場所を検討してほしい。
- ・学校施設の安全性を確保するため、階段やエレベーター等の動線は明確な区分が必要である。
- ・画期的なITを取り入れるなど、最先端な技術を用いた施設にしてほしい。

②和泉小学校校舎

- ・災害時に複数方向避難ができる動線計画が必要である。
- ・現在の教室や職員室は狭い。ロッカーやタブレット等を置く場所、会議室があると良い。
- ・多目的ルーム、図書室、身体を動かせる屋内スペース、男女別更衣室・休憩室があると良い。
- ・フロアの中央に図書室があると良い。
- ・職員室と保健室は校庭に面して配置してほしい。
- ・運動会のために、校庭に面した位置に放送室を設置できると良い。
- ・特別支援拠点校であり、適切な環境を設えた通級指導教室、相談室（3～5部屋）があると良い。
- ・教室に馴染めない子どもたちの居場所機能など、多様性を受け入れ、様々な背景の人が集える施設

整備が必要である。

- ・小学校の音楽室で和太鼓・囃子の練習をしており、和太鼓は体育館に、囃子の太鼓も施設内に保管している。移動用のかご（既製品のボールかご。太鼓や体育館）が通るように、通路、エレベーターの幅を確保してほしい。

③いずみこども園

- ・現在の施設は当初からこども園として計画された施設ではない（当初は、幼稚園・保育園が別々だった）。
- ・将来の園児数増加も見据えて、対応できる施設計画としてほしい。
- ・独立した玄関、ベビーカー専用置き場、園児数・職員数に対応した各室（調理室、休憩室、更衣室、倉庫、体調不良の園児の待機室など）があると良い。
- ・保育室と同じフロアで直結し、職員室から目が届きやすい園庭があると良い。
- ・園庭は、夏場の日よけスペースも必要である。

④いずみこどもプラザ

- ・学童クラブは、現在 30 名×3 部屋を使用しているが、スペースは不足している。
- ・いっとき預かり保育は、6～最大 10 名程度が利用。5 階の区民図書室奥の一部屋を活用している。
- ・現状、5～7 階にわかれているが、ワンフロアに収まると安全面からも良い。ボール遊び等に適した体育施設、工作室、調理室、防音の部屋等もあると良い。

⑤校庭

- ・平日は、放課後子ども教室「あそび」（～16 時）、その後はこども園の園児が利用している。
- ・休日 8 時半から 17 時頃まで少年野球チームが利用している。
- ・納涼大会では、校庭を利用。来場者が増えたため近年は校庭と公園の両方を使い開催している。
- ・グラウンドは土埃が立たない天然芝が望ましい。
- ・近年の夏の猛暑対策（陽射し避け、ドライミスト等）は必要である。
- ・既存の小学校校庭設置ネットの高さ（約 8 m）ではボールが飛び越えるため、新施設では 21m を希望する。
- ・校庭は正方形で広い場所が望ましい。
- ・短距離走の計測基準を満たす直線コース 50m（50 メートル+ α のサイズ）を確保することができると、児童にとって体力向上の励みとなるのではないか。

⑥その他

- ・パークサイドプラザの会議室は町会、近隣企業の会議等で利用している。
- ・和室は地域のクラブ活動、こども園、こどもプラザ等で利用している。
- ・町会と小学校で使用している校庭下倉庫は、整備後も確保してほしい。手狭になってきている。
- ・少年野球の用具は、校庭及び校庭下の 2 か所の倉庫に保管している。整備後も同程度の大きさがあると良い。
- ・現施設の地下にある子どもの遊び場事業で使用する遊具などを保管している倉庫は整備後も確保してほしい。
- ・プールは一般開放して利用する場合、大人から幼児まで利用することになるため、年齢に応じた使い方ができるようにしてほしい。
- ・プールは、利用率が低ければ近隣のスポーツ施設等で代用することも検討すべきではないか。

（3）公園に関する意見

①日常利用

- ・平日の午前中（～11 時頃）は、周辺保育園児が多い。昼は近隣のサラリーマンや病院の職員、午後には小学生、中学生（15 時以降）が利用し、フルに活用されている。
- ・和泉橋地域における重要な公園。多用途に使える広場空間、子ども向け遊具コーナー、健康遊具コーナー、散歩道、じゃぶじゃぶ池、トイレなどどれも必要がある。
- ・和泉公園は、区内の公園の中でも利用者の年齢層が幅広い。利用状況も多岐にわたることが特徴（子どもの遊び、お花見などの地域利用、入院患者の散歩、若者がダンスで利用など）。
- ・外神田、台東区も含めてかなりの保育園が園庭代わりに午前中利用。少し分散できないと厳しい。
- ・患者からの希望があれば、看護師が付き添い、散歩のため公園を利用することはある。
- ・子どもたちが自由に工夫して遊べるような、広々とした自然豊かな環境を整えることが重要である。
- ・トイレは、現状では子どもの姿が見えにくいいため、トイレ入口を公園側に設けてほしい。
- ・介助者が一緒に入れるスペースのある多機能トイレは整備後も設置してほしい。
- ・じゃぶじゃぶ池は就学前の子どもが多く利用。じゃぶじゃぶ池、ベンチの機能は残してほしい。
- ・夏場でも遊べる環境を整えてほしい（大きな日陰をつくる樹木とミストを設置など）。
- ・水飲み場は衛生面、暑さ対策からもあった方がよい。
- ・遊具（乳児、幼児向けのどちらも）、芝生やゴムクッションで自由に走り回れる場所があると良い。
- ・ボール遊び OK な場所があると棲み分けができて良い。
- ・ボール遊び、犬の散歩は、必要があるが禁止となっている。
- ・高齢者向けに公園内に健康遊具を配置した方が良い。
- ・現在は土埃が立つので、天然芝の公園が良い。
- ・和泉公園の入り口付近にある花壇をこども園で借りて利用しており、空間を確保してほしい。
- ・樹木や植物が多いことは良いが、死角が多いことは気がかりである。
- ・公園内の動線は交錯しないように配慮してほしい。現在の公園は芝生の広場と遊具スペースの間に園路があり、子どもたちが行き来するため、衝突などの危険がある。

②イベント、行事などの利用

- ・連合町会の納涼大会、合同ラジオ体操に利用している（いずれも年 1 回）。
- ・納涼大会は、既存の校庭が使用できるのであれば問題ないが、校庭は飲食禁止のため、校庭のみでの開催になる場合、暫定的に飲食を可能とできないか。
- ・表面（舗装）がゴム製の場合、大きな櫓は建てることができない。
- ・イベント等の際に使用しやすい分電盤等があると良い。
- ・平常時とイベント時の切り替え（納涼大会時の遊具の利用制限等）がしやすいと良い。

③災害時の利用

- ・避難所訓練において公園の利用はないが、小学校や周辺企業の防災訓練時では、集合場所としての利用はされている。
- ・緊急災害時の軽傷患者等のトリアージ空間を公園に設けることになっている（発災直後は病院で対応、その後、傷病者が多くなり院内に入りきらなくなった場合、軽症者は区が公園に設営する緊急医療救護所に対応し、中等症以上は院内で対応する）。
- ・十分なスペースを確保できるよう配慮が必要である。なお、公園で緊急医療救護所を設営する場合

は多くのテントが必要だが、その備蓄が無い。そのため、緊急医療救護所は公園と逆の台東区側病院正面玄関へ設営することも想定している。

- ・緊急医療救護所では照明用の電気や消毒などに使用する水道が欲しい。
- ・災害時、井戸水を浄化して医療に活用するなども想定している。井戸水は重要である。
- ・避難所の生活用水としてちよだパークサイドプラザの地下プールと、公園内の災害対策用井戸を使用する予定であり、公園閉鎖時は、ちよだパークサイドの地下プールのみを使用することで、問題ないと思われる。公園の再整備時にも、災害対策用井戸は設置した方がよい。合わせて、マンホールトイレを設置していただくとよい。
- ・建設型応急住宅建設予定地として指定されている。

④その他

- ・和泉公園は管理事務所がないため、パークサイドプラザで管理していると勘違いしている人がいる。新しく整備するにあたって、いつも人がいる状況はあった方がよい。
- ・休止が長期間（1年以上）に及ぶ場合は、可能な限り、工事に影響を与えない近くの別場所にサイクルポートを一時移設することを検討してほしい。
- ・新しい公園は喫煙者対策やハトの糞対策をしてほしい。

（４）旧ポンプ所跡地の活用に関する意見

- ・地域で利用する機能は、公園の近くにあると利用しやすい。
- ・千代田区のなかでも端に位置している。和泉小学校の卒業生や周囲の中高生が使うにしても、職員がいる安心感が大事であり、自習室だけのニーズはあまり無いのではないか。
- ・区境付近の場所のため、地域の会議室としての利用は考えにくい。特定のターゲットを対象とした施設（高齢者福祉施設等）が良いのではないか。

オープンハウス型地域説明会の概要

■実施概要

(1) 目的

- 現在の検討状況を周知するとともに、学校等施設や公園の課題、整備の方向性について、広く意見を伺う。

(2) 実施概要

- 日時 : ① 2025年2月7日(金) 18:00~20:00 / ② 2月8日(土) 10:00~12:00
※参加者によって参加しやすい日時が異なるため、同じ内容で平日夜間、休日(土曜)日中の2回を設定
- 会場 : ちよだパークサイドプラザ7階 会議室A・B
- 方法 : オープンハウス型(開場の時間内であれば任意に入場・退場可)とし、パネル・模型展示、スライド投影を行い、担当者による説明・意見交換を実施。
- 来場人数 : 2月7日(金) 23名 / 2月8日(土) 15名 ※左記人数は来場名簿に記載いただいた数

【当日の様子】

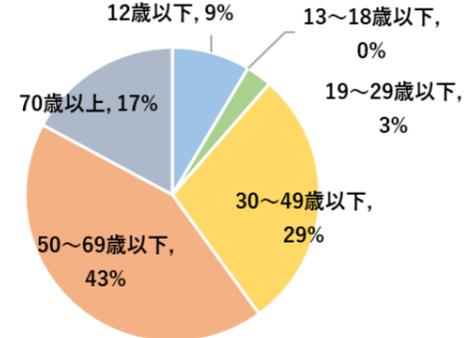


【展示した模型と配置パターン】



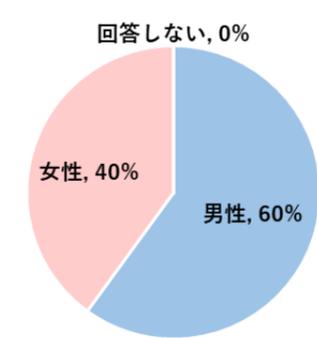
来場者の属性 (アンケートより 回答総数: N=35)

【年齢】



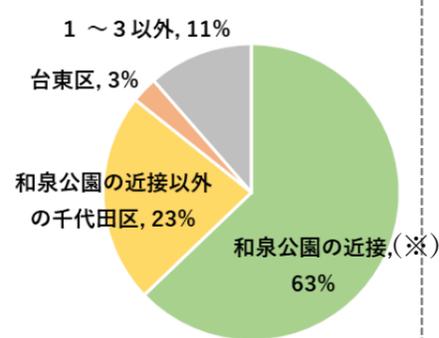
・50~69歳以下が4割以上、30~49歳以下が約3割

【性別】



・男性が約6割、女性が約4割

【居住地】

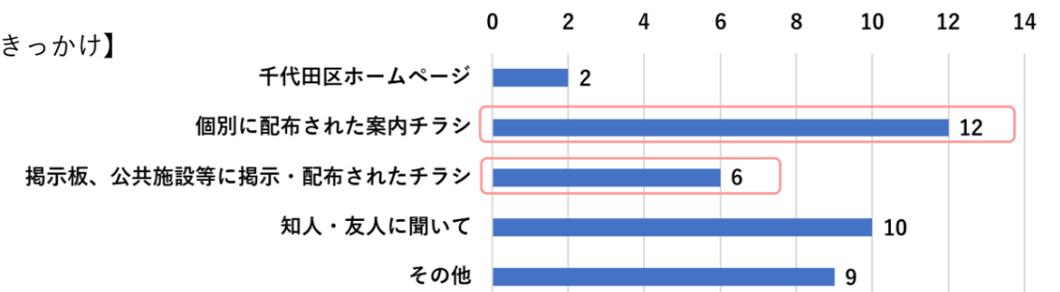


・和泉公園の近接(※)にお住まいの方が6割以上

※和泉公園の近接：神田和泉町、神田佐久間町2~4丁目、神田平河町、神田佐久間河岸、東神田3丁目

来場者の意見 (アンケートより 回答総数: N=35: 複数回答可)

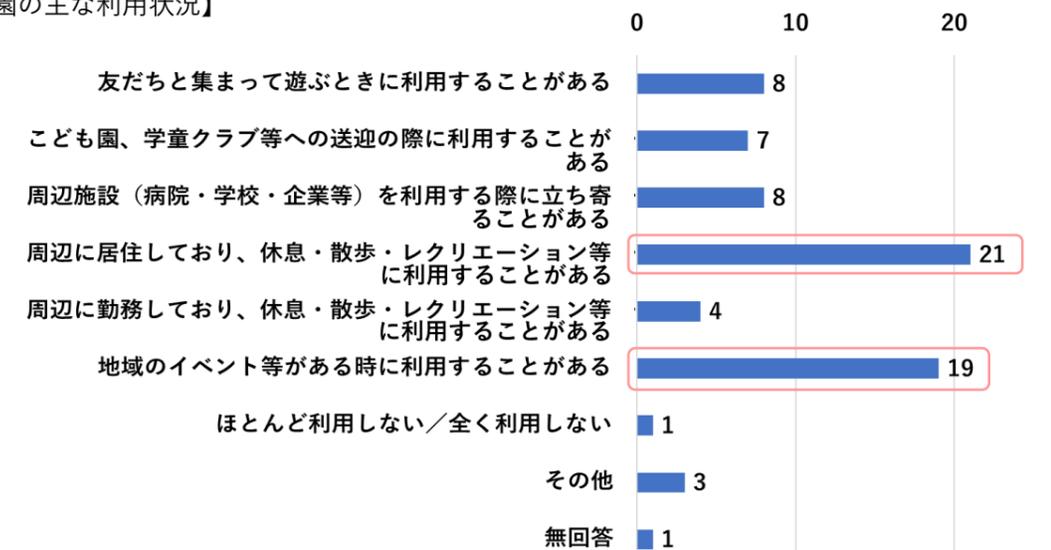
【来場のきっかけ】



・個別に配布された案内チラシ、友人・知人に聞いて参加した方が多い

<その他の記述> ※ () 内の数字は複数意見があるもの
・町会からお知らせ
・学校からもらって来た資料
・和泉小前のチラシ配布 (2)

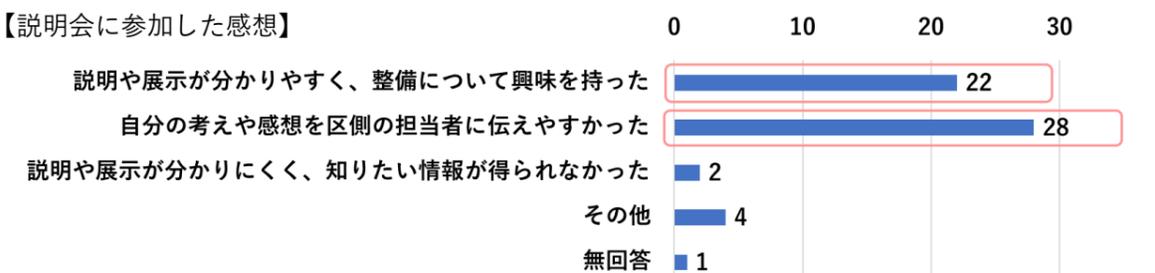
【和泉公園の主な利用状況】



・周辺に居住しており、休息・散歩等に利用することがある方、地域のイベント等がある時に利用することがある方が多い

<その他の記述>
・孫を遊ばせる/子どもが利用している
・夏季合同ラジオ体操の時に利用

【説明会に参加した感想】



・自分の考えや感想を区側の担当者に伝えやすかった方が約8割、説明や展示が分かりやすく、整備に興味を持った方が約6割

<その他の記述>
・計画が多くありイメージがつかめなかった。
・予想より先の計画だったが理解出来た。
・紙面だけでなく、立体的な展示があり、一方的でなく分かりやすかった。
・またやって下さい。

■主な意見

(1) 学校等施設と公園の一体的整備に関する意見

①学校等施設と公園敷地の入れ替えについて

- ・仮移転なく、一回の引っ越しで済むのはよい。
- ・敷地を交換することで、現在の公園用地の樹木等の自然、生態系が失われることが懸念される。

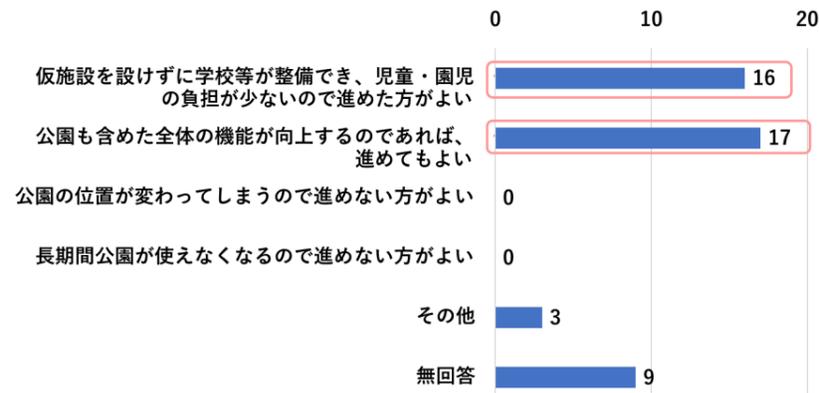
来場者の意見（アンケートより 回答総数：N=35：複数回答可）

【学校と公園の敷地を交換し、一体的に整備する考えについて】

・5割近い参加者が「仮施設を設けずに学校等が整備でき、児童・園児の負担が少ないので進めた方がよい」、「公園も含めた全体の機能が向上するのであれば、進めてもよい」と回答

<その他の記述>

- ・学校の老朽化を考えたら必要だが、公園が使えなくなるのは困る。代わりになる公園を先に確保してほしい。
- ・オフィス街や電気街の人達が利用すると思うけど、セキュリティが万全なら進めてよいと思う。



②校庭と公園の一体的利用

- ・兼用する場合も施設への動線はスムーズになるようにしてほしい。
- ・校庭と公園を兼用することは**反対**。校庭の高さはグラウンドレベルではなく、覗き込まれない方がよい。
- ・公園の面積が平日3-4割を校庭にとられることは気になる。
- ・校庭開放時のセキュリティが気になり。校庭開放の対象（小学校通学者など）はどうするか。
- ・セキュリティラインの設え、仕切り方も要検討。

来場者の意見（アンケートより 回答総数：N=35：複数回答可）

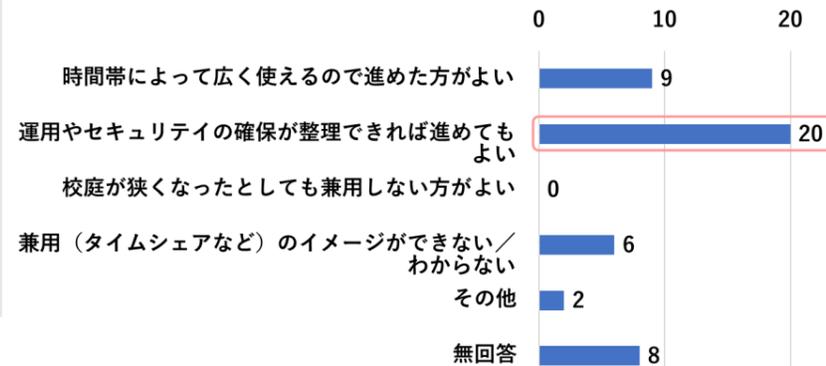
【校庭と公園を兼用（タイムシェアなど）する考えについての感想】

・「運用やセキュリティの確保が整理できれば進めてもよい」が約6割、「時間帯によって広く使えるので進めた方がよい」が約3割

・一方で、2割近くが「兼用（タイムシェアなど）のイメージができない／分からない」と回答

<その他の記述>

- ・いつでも使用できる公園にしてほしい
- ・丁寧な合意形成が必要だと思う。



③施設・公園の配置形態

- ・病院への配慮や施設の使いやすさで形が決まるとよい。
- ・病院の前面なので、高さを抑えるに越したことはない。
- ・佐久間学校通り～病院への抜けは残してほしい。現状は狭い。
- ・緊急時の病院への車両アクセスを確保してほしい。
- ・佐久間学校通りに公園が面しているとよい。／公園は防犯上も奥がよい。
- ・現状より少しでも風が弱くなる施設配置だとよい。
- ・小学校が道路に近いと、アプローチが不安。
- ・子ども園と公園のアクセスは直で行きたい。
- ・病院に直面する建て方としてもL字パターンが良さそう。
- ・L字パターンは、奥まった公園が少し不安。
- ・矩形の北案はよい。防球ネットの開閉は、公園～校庭を一体化しやすく配慮してほしい。
- ・矩形-北パターンが防犯上、地域利用としてよいと思う。
- ・校庭は北側、施設を南側に配置することで日陰をつくれるとよい。暑すぎて外に出られない。
- ・学校の移設にあわせて、目の前の横断歩道も動かす必要がある。



(2) 施設に関する意見

①施設全体

- ・学校、こども園、こどもプラザ、子どもに開かれる施設・機能は、この場にまとめられるとよい。
- ・子どもに関する機能を集約するのはよいが、地域拠点、多世代交流の場でもあることを意識してほしい。
- ・先生方や子ども達の意見も反映した計画としてほしい。
- ・児童数が減っても多目的に使えるよう、将来的な利用を想定した計画としてほしい。
- ・次世代のモデルとなるような小学校になるとよい。
- ・屋上に植栽（緑）を設置して、病院からの見え方に配慮してほしい。
- ・木造校舎にできないか。できなくても木質をできるだけ多く。

②和泉小学校校舎

- ・今も児童数に対して教室数がぎりぎりのため、児童増加を考慮した方がよい。
- ・小学校の図書スペース、廊下に本があるのは、日常的に本に触れあうことができるためよい面もある。

③学童スペース

- ・学童、様々な活動ができるスペースがあるとよい。(工作、音楽、アート、STEAM教育など)
- ・学童スペースが不足。3年生くらいになると入れない。

④校庭

- ・夏暑すぎて遊べないので、公園、校庭は日陰が多い方がよい。
- ・校庭はグラウンドレベルより高くしてほしい。周りの目が気になる。
- ・50m直線コース（ゴール後の走り抜け長さも含め）をとれるとよい。
- ・校庭はぜひ芝生にしてほしい。
- ・高木をできるだけ残し、低木でごまかさないとほしい。

⑤その他

- ・地域（町会等）が会議に使えるような多目的スペースがあるとよい。
- ・雨をしのげるピロティ空間があるとよい。
- ・自然風を取り入れてほしい。
- ・地域で使える倉庫があるとよい。地下でもよい。
- ・区の住民サービスをDX等で受けられる設備があるとよい。
- ・プールにすべり台、ジャグジーをつけてほしい。

(3) 公園に関する意見

①日常利用

- ・砂埃が舞わないようにしてほしい。
- ・芝生にしてほしい。
- ・ボール遊びができるとよい。
- ・トイレの位置、出入口は防犯に配慮してほしい。
- ・じゃぶじゃぶ池は重宝している。幼児と乳幼児で少し動線を分けられるとよい。夏場のみ仮設で着替えができるテント、カーテンなどを設けられないか（災害時も使えるのでは）。
- ・錦華公園のような水の流れ、水がきれいに維持、管理できる設えを検討してほしい。

②イベント、行事などの利用

- ・北からの強風で納涼大会のテントが建てられなかった。
- ・水道、電気が必要。
- ・納涼大会の台は重いので、置いても問題ない舗装にしてほしい。

③災害時の利用

- ・大規模災害発生時、和泉公園は緊急医療救護所として活用される。公園内にテントなど救護活動に必要な備品をストックするための防災備蓄倉庫を設置できるとよい。
- ・災害時、教育の面でも井戸があるとよい。
- ・トリアージ空間としての利用も想定し、公園に屋根付きスペースがあるとよい。

④樹木・歴史的資源の継承

- ・桜の移植を検討してほしい。桜を残してほしい。
- ・桜の木が記念樹になっている可能性がある。
- ・石垣は前公園から継承したものであり残せないか。
- ・木にも土にも、生き物が住んでいる。できたら保存してほしい。

⑤その他

- ・代替地でもイベント用のインフラ確保が必要。
- ・工事中も、じゃぶじゃぶ池の代替があるとよい。
- ・予約等の管理運営が必要になるが、運動公園的な使い方はあるかもしれない。
- ・指定管理とするのはよい。

(4) 旧ポンプ所跡地の活用に関する意見

- ・プラザには多世代交流の場としての意義もある。ポンプ所跡地は少し遠い。
- ・公園で遊び、帰りに本を借りる流れがあるので図書室は施設にあるとよい。
- ・図書室は、子どもスペース、子ども向け図書閲覧スペースを充実させて施設に残してほしい。公園が雨で使えない時に親子で使えるように。
- ・区民図書室と学校図書館をあわせ、一般開放できる図書館となるとよい。
- ・図書の貸し借りは、施設に来るついでにしたい。貸し借りカウンターだけでも、施設1階にほしい。
- ・大人のワーキングスペースなどがポンプ所にあるとよい。
- ・音の出る特殊な練習などはポンプ所でもいいのではないか。

和泉小学校児童アンケートの実施結果

■実施概要

(1) 目的

- 施設、公園整備における期待について小学校児童の率直な意見を把握し、整備のあり方や方向性を定める基本構想に反映する。

(2) 方法と対象

- 方法：WEBアンケート（URLまたは二次元コードからアンケートフォームにアクセス）
- 対象：令和7年2月1日時点で小学校に在学している児童（1年生から6年生まで）

(3) 設問概要

- 令和4年度に実施したアンケート調査では、当時の和泉小学校児童1～6年生（現在の3～6年生）に、現在の小学校校舎の使いやすさ、新しく計画される校舎に「あったらいいな」と思う場所、和泉公園の利用状況について聞いている。
- 本調査は、補足調査として、新しく計画される公園等について回答いただいた。

令和4年度アンケート 設問

- 回答者の属性について（学年）
- 現在の施設環境について
 - 現在の小学校で使いやすい場所
 - 現在の小学校で使いにくい・もっとよくしてほしい場所
- 新しく計画する施設環境について
 - 新しく計画する校舎に「あったらいいな」と思う場所
- 和泉公園について
 - 公園を利用する頻度
 - 公園でしている活動

令和6年度アンケート 設問

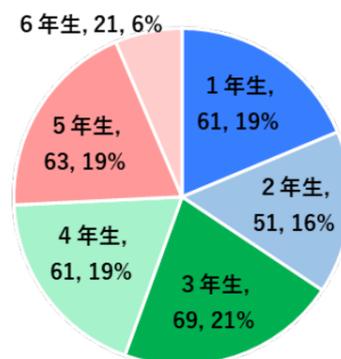
- （今回実施、令和4年度アンケートの補足調査）
- 回答者の属性について（学年）
 - 新しく計画する公園環境について
 - 新しい公園で「できたらいいな」と思うこと
 - 放課後に過ごす場所について
 - 放課後に過ごす場所
 - 家庭と学校のほかに過ごす場所の環境について
 - 家庭と学校のほかに「あったらいいな」と思う場所

(4) 回答期間、回答率

- 回答期間：2025年2月3日（月）～2025年2月14日（金）
- 学年別回答率

学年	回答数 （）内は児童数に対する回答割合	児童数 ※R7.1月時点
1年生	61 (109%)	56
2年生	51 (80%)	64
3年生	69 (96%)	72
4年生	61 (86%)	71
5年生	63 (95%)	66
6年生	21 (38%)	56
計	326 (85%)	385

【全回答数に対する学年別回答割合】



※グラフ中の表記は、[学年,回答数,回答割合]を表す

- ※1年生の回答割合が100%を超えていることについては、①1人の回答者が複数回答している、②2年生で1年生と回答した児童がいる等が要因として考えられる。

■結果概要

①新しい公園で「できたらいいな」と思うこと（3つまで選択） N=326



<その他の記述>
※（）内の数字は複数意見があるもの
本を読む所作り／自動的な、公園／全部／公園の真ん中に屋内を作る／ローラー滑り台／無料レンタル／ジェットコースター／魚観察／バスケットボールコート・ゴール(2)／本が読めるスペースが欲しい／自然芝／友達とテーマパーク／食べ物屋

- ・「遊具遊び、アスレチック」は、すべての学年で最もニーズが高い。
- ・次いで、「秘密基地づくり」、「水遊び」、「ボール遊び」、「おにごっこや走り回り」など身体を動かして遊ぶ活動に対するニーズが高い。

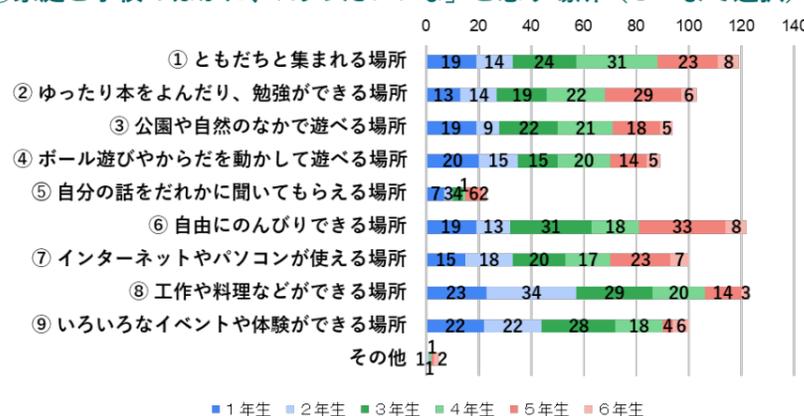
②放課後に過ごす場所（3つまで選択） N=326



<その他の記述>
※（）内の数字は複数意見があるもの
町内／プラザ(2)／区外民間学童／友達と一緒に遊ぶ／宿題／バスケット／寝室／家電量販店(2)／電気街

- ・「自分の家」、「塾や習い事」が多いが、1～2年生では「学童」が多い。
- ・「公園や広場」で過ごすのは、3～4年生が最も多い。

③家庭と学校のほかに、「あったらいいな」と思う場所（3つまで選択） N=326



<その他の記述>
※（）内の数字は複数意見があるもの
ゲーム(2)／寝られる場所(2)／たまにタブレットがいじれる場所／猫カフェ

- ・1～2年生は「工作や料理ができる場所」、3～4年生は「ともだちと集まれる場所」、5～6年生は「自由にのんびりできる場所」に対するニーズが最も高い。
- ・「公園や自然の中で遊べる」「ボール遊びやからだを動かして遊べる」等の動的な活動、「ゆったり本を読んだり、勉強ができる」「インターネットやパソコンが使える」等の静的な活動、「工作や料理」「イベントや体験」などの体験型の活動は、それぞれニーズが高く、多様な場所が望まれている。

和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備

2025年1月

発行：千代田区教育委員会事務局
子ども部子ども施設課

News Letter vol. 1

和泉小学校・いずみこども園等施設（ちよだパークサイドプラザ）と和泉公園との一体的整備に向け、子どもたち、保護者や地域の皆さまなど、この場に関わる多くの方と課題や想いを共有し、より良い整備のあり方をともに考えていけるよう、検討状況についてお知らせしていきます。

学校等施設・公園整備の方向性を定める

整備構想の策定に向け、検討を進めています！

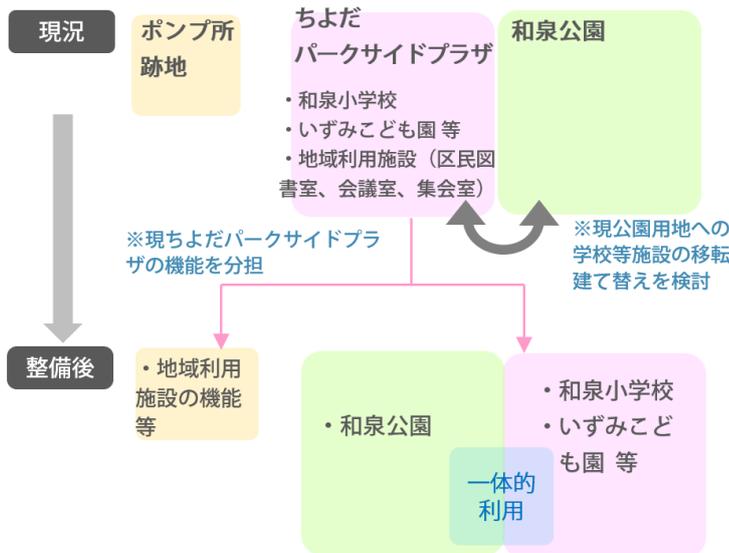
- 和泉小学校・いずみこども園等を有するちよだパークサイドプラザは、竣工から37年が経過し、老朽化等の課題があることから建替えに取り組むこととしており、小学校・こども園の機能を継続する観点等から、現地建替えではなく、隣接する区立和泉公園敷地への移転建替えを行う方向で検討をはじめています。（公園との敷地交換・一体的整備）
- ヒアリングや検討会（施設関係者、学校関係者、周辺事業者、地域の代表者等で構成）、地域説明会等を通じて、この場に関わる多くの方と意見交換しながら検討を進めていきます。



<検討イメージ>



○限られた敷地内での整備効果の最大化を図るため、校庭と公園の兼用（タイムシェア）などの一体的利用や、旧和泉町ポンプ所跡地に現ちよだパークサイドプラザの機能の一部を分担すること等も検討しています。



オープンハウス型地域説明会のお知らせ

- 現在の検討状況をお伝えするとともに、学校等施設や公園の課題、整備の方向性について、広く地域の皆さまのご意見を伺うため、オープンハウス型地域説明会を開催いたします。
- 開場時間中のご都合の良い時間にお越しください。
- 本整備に関心のある方は、どなたでも参加できます。

日時：2月7日（金）18:00～20:00

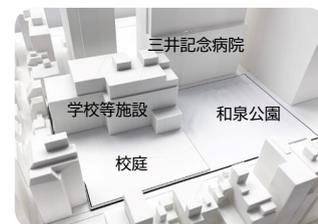
2月8日（土）10:00～12:00

場所：ちよだパークサイドプラザ 7階会議室

オープンハウス型地域説明会とは…

説明パネルや模型等の展示とあわせ、担当者が来場者の方に説明をさせていただき、ご意見を伺う形式の説明会です。

パネルと模型を囲み、
皆さまのご意見を聞かせてください！！



第1回検討会を開催しました！

- 昨年11月21日に、施設や地域関係者との「和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備に向けた検討会」を開催しました。
- 過年度の検討を振り返り、和泉公園の現況や課題、整備における留意点や期待について意見交換を行いました。



<主な意見>

今後の検討スケジュールについて

- ・進めるスローガンを導き出し、地域に示してはどうか。
- ・公園の芝生やじゃぶじゃぶ池は重宝している。公園を使えない期間の代替措置を考えてほしい。
- ・工事期間中の児童の安全性を十分に確保してほしい。

和泉公園の現況及び課題について

- ・日常利用に加え、地域のラジオ体操、納涼大会などでも利用。病院施設(災害時のトリアージ空間)が隣接。
- ・休日には TENT を張って利用する子育て世代を見かける。ビル風や土ほこりが強い。何か対策ができないか。

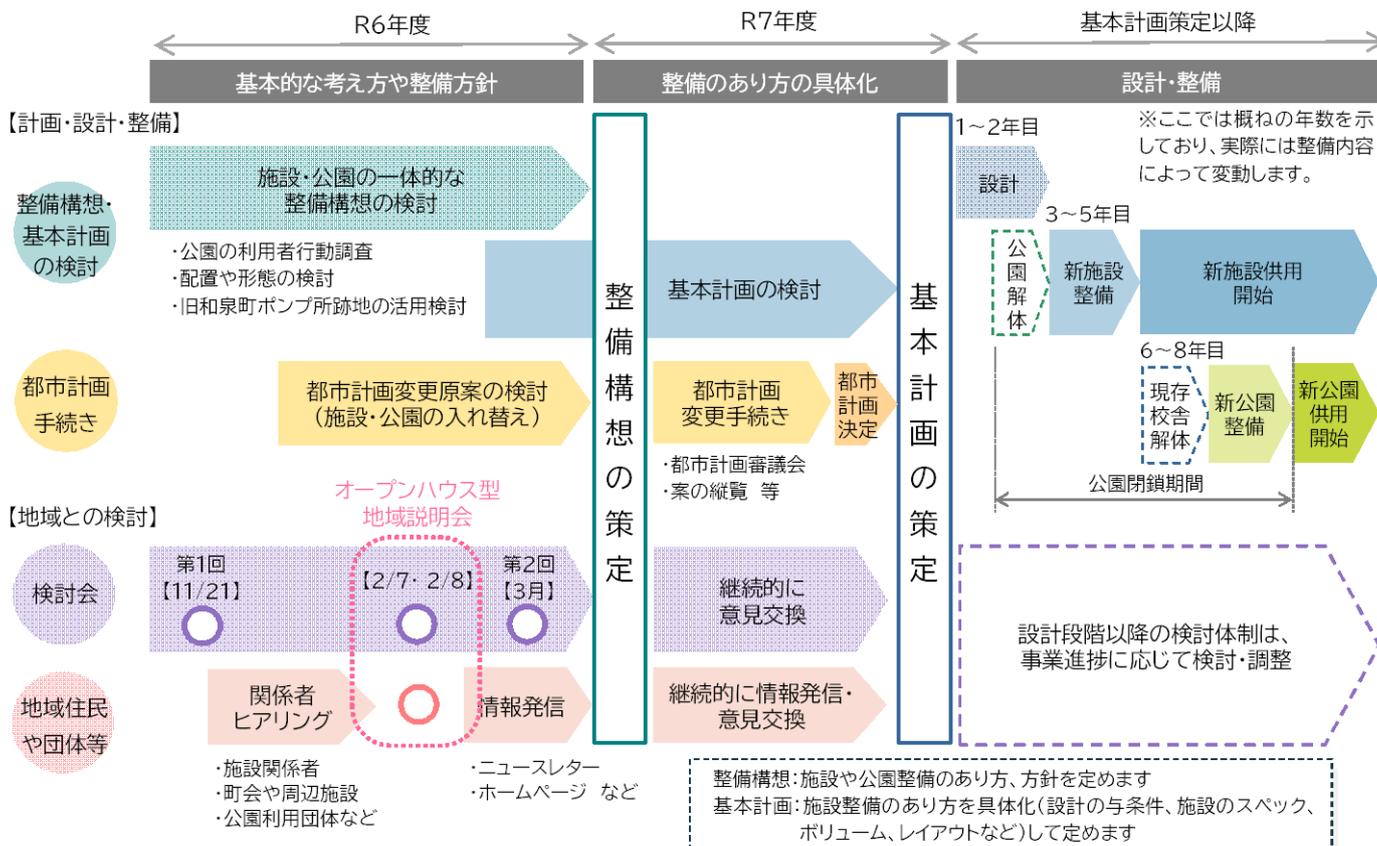
施設と公園の整備における留意点や期待について

- ・現状の施設や公園は、様々な団体が使っている。様々な人にとって使いやすい場所になるよう検討してほしい。
- ・公園と校庭を一体的に活用できるのは良いと思うが、セキュリティの確保が重要。また、放課後の時間帯も学校・園で校庭を利用している。そうした、現在の利用実態をしっかりと踏まえた上で検討を進めてほしい。
- ・小学校の校舎は児童が授業間に移動しやすいように、子ども園は送迎の動線がスムーズにできると良い。

検討スケジュール

地域の皆さまと継続的に意見交換をしていきます

※以下のスケジュールは現時点での予定です。



整備に関する情報を公開しています！

〇千代田区ホームページにて、本整備に関する概要、検討経緯、検討状況等に関する資料等をご覧ください。 **和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備** →

<https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kosodate/gakko/izumi-ittaitekiseibi.html>

お問い合わせ先：教育委員会事務局子ども部子ども施設課

☎：03-5211-4275



意見等を踏まえた今後の対応ポイント

■昨年度までの検討

○学校・園関係者を中心とした検討を通じて、和泉小・こども園等施設の和泉公園への移転建替えの考えを取りまとめた。

■本年度の検討

○敷地交換には和泉公園の都市計画変更が必要。このため、公園からの視点を検討に加えるとともに、個別ヒアリングや説明会等により地域からのご意見を伺う。

■意見等を踏まえた今後の対応のポイント

- 公園も含めた全体の機能が向上するのであれば、学校敷地と公園敷地の入れ替えを進めても良いとする意見が代表的であることを確認できた。このため、敷地交換を前提とした整備構想の策定を進めていく。
- また、いただいた各種のご意見や児童アンケート、公園調査の結果等は、今後の施設計画等に適宜反映していく。
- 一方、校庭面積拡充のための公園との一体的利用（兼用・タイムシェア）や配置形態に関しては、以下のようなご意見（相反、留意）をいただいている。（資料4～6のマーク箇所）

公園と校庭の一体的利用や配置形態に関するご意見

	一体的整備検討会	個別ヒアリング	オープンハウス型地域説明会
対象	検討会委員	周辺の町会等団体	地域住民等
時期	令和6年11月21日	令和6年12月～	令和7年2月7日、8日
敷地交換	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭は学校、園等で夕方まで活用。土曜保育もある。→公園で使える時間が短い ・校庭開放時もセキュリティが課題 ・病院への圧迫感の軽減、景観への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭が広がることは良い ・セキュリティを十分確保すべき ・公園はできるだけ広くしてほしい ・病院への動線確保 ・既存樹利用の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・運用やセキュリティの確保が整理できれば進めても良い ・兼用のイメージがつかない ・反対、校庭はグランドレベルでなく覗き込まれない方が良い

兼用・タイムシェアする以外の手法も含めてメリット/デメリットについて改めて整理し、配置形態と共に、次年度において取りまとめる予定の整備構想に反映するべく検討を継続する。

公園・校庭・施設の配置検討パターンの追加

- ・従前と同等以上の校庭面積を確保するための案として、校庭と公園と兼用（タイムシェア）する代表的なパターンを3つ提示している。
- ・一方、オープンハウス等において兼用に伴うセキュリティへの懸念が示されていることから、兼用によらずに校庭面積を確保するパターンを新たに追加する。（赤枠の3パターン）
- ・これらのパターンの中で、パブリック空間である公園と、施設内のパブリック的部分（区民利用施設）、プライベート的部分（学校・園）の作り方・使われ方を改めて比較検討する。

※下表の面積等の数値は概算値。「兼用」は同じ空間をタイムシェアする意味、「占用」は公園上空に工作物を設ける意味で用いている。

		現況配置	地表面レベル兼用(タイムシェア)			人工地盤占用		屋上校庭
			L字案	矩形北案	矩形東案	矩形北案	矩形東案	
配置図 (伏図)								
配置図 (1階レベル)								
諸元	階数	地上7階 地下1階	地上7階 地下2階	地上8階 地下2階	地上9階 地下2階	地上8階 地下1階	地上9階 地下1階	地上6階(+屋上校庭) 地下2階
	公園の共用状況	4,600㎡ 内600㎡が校庭	4,600㎡ 内1,200㎡は校庭と兼用	4,600㎡ 内1,200㎡は校庭と兼用	4,600㎡ 内1,200㎡は校庭と兼用	4,600㎡ 内1,200㎡は屋根下空間	4,600㎡ 内1,200㎡は屋根下空間	4,600㎡のまま
	兼用部分	(600㎡:兼用実態なし)	有り2,400㎡	有り2,400㎡	有り2,400㎡	なし	なし	なし
	公園面積 (兼用・屋根下以外)	4,000㎡	3,400㎡	3,400㎡	3,400㎡	3,400㎡	3,400㎡	4,600㎡
	校庭レベル	2階相当	1階 (公園・道路レベル)	1階 (公園・道路レベル)	1階 (公園・道路レベル)	2階相当	2階相当	7階相当
特徴	公園の配置 (兼用・屋根下以外)	○ 整形だが面積が減る	△ 間口が狭く奥まっている	○ 間口が広い	○ やや奥まっている	○ 間口が広い	○ やや奥まっている	◎ 整形
	校庭セキュリティ、 プライバシー	○ 設置レベルにより分離される	△ 可動門扉・目隠しフェンスや 人的対応が必要	△ 可動門扉・目隠しフェンスや 人的対応が必要	△ 可動門扉・目隠しフェンスや 人的対応が必要	○ 設置レベルにより分離される	○ 設置レベルにより分離される	◎ 設置レベルにより完全に分離される
	校庭面積	△ 学校のみで1,800㎡(公園600㎡含む)	◎ 公園との兼用として2,400㎡	◎ 公園との兼用として2,400㎡	◎ 公園との兼用として2,400㎡	○ 学校のみで有効2,200㎡	○ 学校のみで有効2,200㎡	○ 学校のみで有効2,000㎡
	公園と校庭の一体利用	△ 階段を介しての接続	◎ 平面での一体利用が可能	◎ 平面での一体利用が可能	◎ 平面での一体利用が可能	△ 階段を介しての接続	△ 階段を介しての接続	× 接続はできない
	施設と公園のアクセス	◎ 直接面する	△ 概ね面する	○ 面する	× 兼用部分(防球ネット)による分離	◎ 直接面する	◎ 直接面する	◎ 直接面する
	施設(校舎)と 校庭のアクセス	◎ 直接面する	◎ 直接面する	△ 歩道橋等による接続	◎ 直接面する	○ 直接面するが狭い	◎ 直接面する	△ 校舎内を上下移動する
	北側隣地への影響 (相対特徴)		面する部分が長い	面する部分が長い	高いが面する部分が狭い	面する部分が長い	高いが面する部分が狭い	面する部分が長い
立体イメージ (模型写真)								

